

12月定例会（企画：株式会社東急コミュニティー様）

◆日時：2019年：12月23日（月） 14：30～16：30

◆場所：株式会社東急コミュニティー 技術研修センターNOTIA

所在地 東京都目黒区上目黒3丁目9番1号

最寄駅 東急東横線 中目黒駅 徒歩2分

https://www.tokyu-com.co.jp/service/mansion_m/notia/

◆プログラム

14:30～14:35

オープニング 知的オフィス環境推進協議会 会長 三木光範

企画者ご挨拶 東急建設株式会社 中村 聡

14：35～16：10

技術センター概要説明 株式会社東急コミュニティー 田邊邦夫

ビル内見学

16：10～16：25

質疑応答

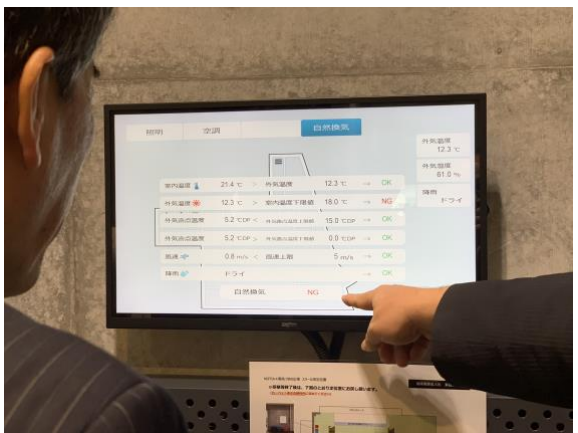
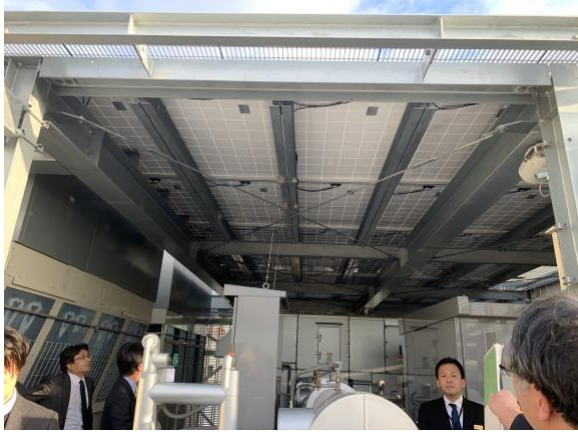
16：25～16：30

クロージング 知的オフィス環境推進協議会 会長 三木光範

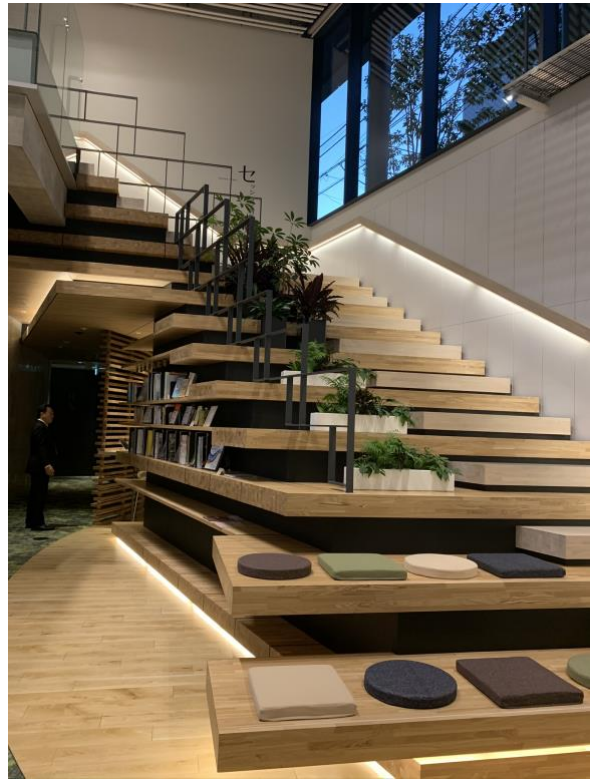
◆当日の写真











◆開催関係者への礼状

株式会社東急コミュニティー

田邊邦夫様

中尾啓史様

井関尚広様

(順不同)

写：東急建設株式会社 中村 聡様

知的オフィス環境推進協議会運営委員各位

同志社大学理工学部 三木です。

12月23日には、知的オフィス環境推進協議会の定例研究会として貴社の技術研修センターNOTIAを見学させていただき、誠に有り難うございました。

中目黒の駅からすぐの場所に場違いな感じで突然現れた素晴らしい建物に驚きました。立地が最高の場所に、緑が豊かで、デザイン性の高い5階建てのビルがあり、エントランスもクールで、街の人は何の施設だろうと思われているに違いありません。

私は株式会社東急コミュニティー様という企業名も存じ上げなく、今回初めて貴社の活動範囲の広さに驚きました。ビルの設備管理などの業務で、日本全国に1600名ほどのエンジニアが居られ、それらの方の技術研修の場所として使われている建物であること、そのため、インテリアにも凝り、最新のオフィスデザインも取り入れながら、多くのビルの設備の本物が中身が見える状態で動作し、実際にその操作をしながら、設備の管理技術を学んでゆく施設であることにも驚きました。

最初に拝見させていただいた企業紹介のビデオは、研修生にとっても、外部の方にとっても、とても魅力的にできあがっていました。聞けば、ビデオに出演している研修生の人たちはすべて役者さんということで、その演技指導もされ、かつ、役者に見えない演技で、これも見所満載でした。

まずは、このビルが事務所等の分類で、東京都内初の Nearly ZEB を取得したことが一番の見所です。外断熱、矩体蓄熱、輻射空調、太陽光発電、高温冷水と低温冷水の二重システムの熱源、中間期の自然換気、地中熱の利用など、最新技術をすべて取り入れ、75%という Nearly ZEB の基準を超え、80%にも届いた省エネルギー性は本当に素晴らしいと思いました。特に、外皮性能が高く、標準的なビルの外皮性能を1とした場合、NOTIA のビルが0.58とのことで、外断熱で努力しても0.8程度のビルが多いとのことで、0.58という数値は驚異的な断熱性であると思いました。この数値だけで42%の省エネルギーになります。これらの技術で、使用エネルギーを69%削減し、太陽光発電で6%の創エネをし、合計75%を達成とのこと、まさに快挙と言うべきだと思います。設計施工は清水建設株式会社とのこと、このビルは Nearly ZEB の見学先としても極めて有意義な施設だと思います。

そのあと、各フロアを見学させていただきましたが、コミュニケーションゾーンでは多くの液晶プロジェクターがあり、テーブルや椅子がフレキシブルに配置できること、スクリーンも多く、かつ、映像に書き込みが可能な電子黒板的プロジェクターもあり、参加者同士のコミュニケーションの活性化をはかり、問題解決を自律的に考えるアクティブラーニング方式の研修が行われていること、大学の教育より進んでいると感動しました。

見学させていただいた各設備は大変興味深く、熱交換器の内部や天井配管の見える化など、一般のビルでは見えない設備がすべて見え、かつ、動作状況も分かるなど、研修には最適な施設になっていました。中でも、4種類の消火栓で、従来型は二人でホースを取り出し、放水しなければならなかった設備が、最新のものでは一人で操作できるなど、一般の人が知らないところでいろいろな技術発展があることも知りました。また、スプリンクラーの先端を誤って壊す事故もあり、その場合即座に水を止めなければならないための表示装置や、火災報知器の鳴動の実演など、興味が尽きない見学でした。

また、地下に降りる階段と一体化したコミュニケーションゾーンのデザインは素晴らしく、多くの木材、植物、緑の床材、コンクリート打ちっぱなしのおしゃれな空間などが相俟って、都心の最先端のオフィスの一部を見ている感覚でした。研修所にこれだけの贅沢な空間が必要なかと思われる人も多かったことと思います。しかし、こうした最高の空間は、多くの研修生に感動を与え、オフィス空間の重要性を知ってもらうためにも、また、採用活動においても大きな貢献をしていると思います。まさに、東急コミュニティーのシンボルビルでもあります。

今回の見学会では、ご企画をいただいた東急建設株式会社の中村 聡様のご仲介でこのような素晴らしい見学会ができたこと、本当に有り難うございました。ご関係の皆様には厚く御礼を申し上げます。年末の慌ただしい時期、かつ、研修の合間を縫っての日程をあけていただいたこと、感謝申し上げます。

それでは、今後ともどうかよろしく願いいたします。